



PS-A4002・PS-A7002 2チャンネルパワーアンプ

2チャンネルパワーアンプ

型名 PS-A4002 PS-A7002

取扱説明書



Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

— お買いあげありがとうございます —
ご使用前に、この「取扱説明書」及び別冊「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なお読みください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
エコマーク認定の再生紙(古紙50%含有)を使用しています。



お客様ご相談センター

東京	☎ (03) 5684-9311 [代表]
	〒113 東京都文京区本郷3丁目4-7 ビクター本郷ビル
大阪	☎ (06) 765-4161 [代表]
	〒543 大阪府天王寺区小堀町10-16 スタービクタービル

日本ビクター株式会社

システム事業部
〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243 (ダイヤルイン)

© 1987 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LTD.

SS66210-002

SS66210-002

このたびは 2チャンネルパワーアンプ PS-A4002・PS-A7002を お買いあげいただきありがとうございます

本機の特長

- 新しい電源方式の採用により高効率化を実現し、信頼性が向上しました。また従来モデルに比べ大幅に軽量化を実現しました。
- PS-A4002は自然空冷方式のため、騒音を発生するファンがありません。
- PS-A7002は内部温度を監視するセンサにより、空冷ファンの回転・停止を制御する方式を採用しています。(通常使用時、空冷ファンは回転しません。)
- ATTツマミの誤動作を防ぐ保護カバーがついています。
- 入力端子はキヤノンタイプ2種類(XLR-3-31相当とXLR-3-32相当)とを装備しています。
- EIAラックマウント、糊置きの両方に対応。
- 着脱可能なEIAマウント器具を装備。
- 動作状態が一目で監視できるSIGNALとPEAKインジケータを採用。
- PA用として保護回路も強化
電源スイッチ“ON”“OFF”時のポアノイズを防ぐ
ミネーティング回路と、過負荷・出力短絡時にオーバー
トランプを防ぐASOリミッター、DC電圧と熱を検出
し、出力をしゃ断する保護回路を装備しています。
- PS-A4002
 - ・定格出力で300W×2(8Ω)、400W×2(4Ω)のバ
ワーが得られます。
 - ・スイッチの切換えにより、800W×1(8Ω)の大出力
モニターパワーアンプとして使用可能。
- PS-A7002
 - ・定格出力で450W×2(8Ω)、700W×2(4Ω)のバ
ワーが得られます。
 - ・スイッチの切換えにより、1400W×1(8Ω)の大出力
モニターパワーアンプとして使用可能。

安全上のご注意



この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するた
めに、いろいろな注意を示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容を長く理解してから本文をお読み
ください。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想
定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
可能性が想定される内容を示しています。

警告

■ 万一、異物が機器の内部に入った場合は、本体の電源スイッチを
切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡く
ださい。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くこと

警告

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの緩
ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめく
ださい。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因とな
ります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- この機器の上部や底部などの通風孔をふさがらないでく
ださい。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原
因になることがあります。この機器には、内部の温度
上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が
あけてあります。ラックに組むときは、通風のため
最低本機2台に対し1台以上のブラック・スペースを
とるようにしてください。

- 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。
- コンセントに付いている緑色の端子は、安全アース端
子です。正しく接地してください。

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに、
かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い
所には置かないでください。
- 焼いた所や酸々しい台など、不安定な場所には置かな
いでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危
険です。
- コードが熱器具に触れたり、近づくとこがないように
してください。
- 本機の内部に水・金属類や燃えやすいものなどを入れ
ないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機の上に重いものや、水の入った容器を置かない
でください。故障の原因となります。

目次

本機の特長	2
安全上のご注意	2
ご使用上の注意	4
各部の名称と働き(フロントパネル部)	5
各部の名称と働き(リアパネル部)	6
接続のしかた	8
ラックへの組み込みについて	10
プロックダイアグラム	12
仕様	14
保証とアフターサービス	15

ご使用上のご注意

電源を入れてから3～5秒間はプロテクト表示ランプが点灯し音ができませんが、これはミュージーティング動作のためで、故障ではありません。

- 窓をしめぎった自動車の中や直射日光のあたるところ、暖房器具の近くに設置しないでください。
変形、変色、故障することがあります。
- 短気の多い場所または虫煙や湯気が当たるような場所は避けてください。故障の原因となります。
- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（カゼソール）の働きにより変質したり、変色がはげることが原因となります。
- PS-A4002・PS-A7002 をモノラルアンプとしてのご使用については、8ページを参照ください。
- PS-A4002・PS-A7002 内面の異常発熱回路が動作した場合、両ch同時に保護回路が動作します。

● 設置場所について

本機の上に信号レベルの低い機器を設置すると、本機のワットランズの雑音感度によりFM雑音が出るものとがあります。CDプレーヤー、テープレック、グラフィックコライザーなどはできるだけ離して設置してください。

● 設置上の注意

添付のフットを取り付けてご使用になる際は、本機上系の通風孔を防がないでください。
放熱効果の妨げとなり故障の原因となります。

● 放熱について

大出力動作で長時間ご使用いただく時は、本機の周囲（特に天板・底板側）に充分なスペースを取り、空気の流通をよくしてください。

ラックマウントする場合は10ページを参照ください。
梱置きの際はフットをつけてください（11ページ参照）

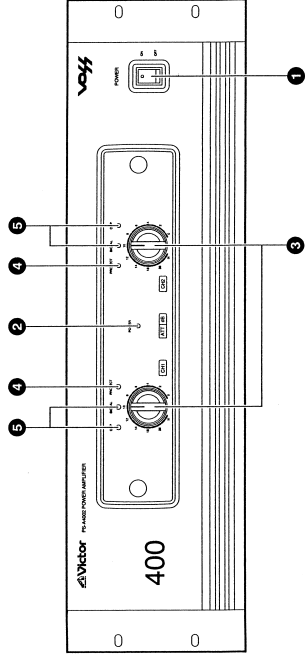
● 電源スイッチの投入について

すべての結線が終わってから本機の電源を「ON」してください。また、接続コードの抜き差しは本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。
ミキサ、イコライザーなどと組み合わせてご使用になる時は、本機の電源スイッチは最後に投入してください。他の機器の電源投入ノイズ等でスピーカが破損するのを防止できます。

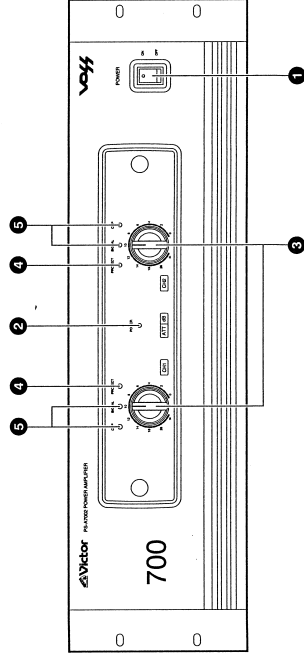
電源を切る時は、まず本機から「OFF」にすることで、同様の効果が得られます。
多数のアンプをご使用になる時は、電源スイッチを同時に入れないようしてください。同時に電源を入れようと、突入電流のため商用電源（AC100V）のブレーカーが切れる場合があります。十分な容量のある電源に接続してください。

各部の名称と働き フロントパネル部

- PS-A4002



- PS-A7002



① 「POWER」電源スイッチ

スイッチを「ON」側にすると電源が入ります。電源を投入すると②電源表示ランプ（緑）および④プロテクト表示ランプ（赤）が点灯します。（この状態では、出力が遮断されています。）3～5秒後にプロテクト表示ランプが消灯し、動作状態に入ります。電源を切る場合には、スイッチを「OFF」側にしてください。

② 「POWER（緑）」電源表示ランプ

電源スイッチ「ON」で点灯します。

③ 「ATT」入力アッテネータ

入力感度を+4dBsから可変できます。ミキサ、プリアンプ等の出力レベルに合わせて調節してください。（クリックボタシオン付です。）

PS-A4002・PS-A7002をモノラル/パワーアンプとしてご使用のときは、CH1側の入力アッテネータで調節してください。

④ 「PROTECT（赤）」プロテクト表示ランプ

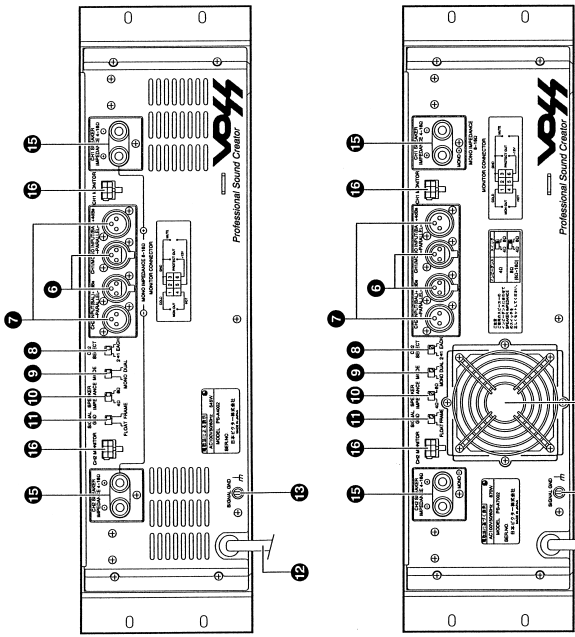
電源スイッチ「ON」で点灯し、3～5秒後に消灯して動作状態に入ります。また、保護回路が動作し、出力が遮断された時も点灯します。（ミュージーティング動作）消灯しない場合は、何らかの異常が考えられますので、一旦電源を切って原因を調べてください。

⑤ 「SIGNAL PEAK（赤）」シグナルインジケータ

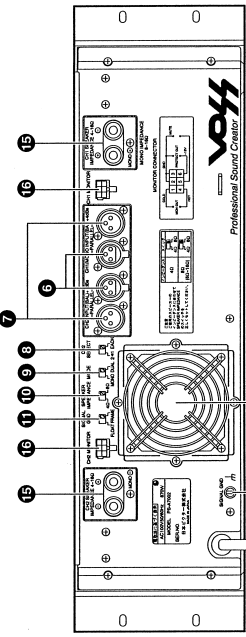
各チャンネルの信号レベルを表示します。通常の状態ではSIGNALのランプが点滅します。PEAKのランプは、出力が定格出力の3dB手前まで点灯します。できるだけ点灯しないよう状態で、ご使用ください。

各部の名称と働き リアパネル部

● PS-A4002



● PS-A7002



⑦ 「INPUT(BAL)」 入力端子

CH1/MONO・CH2

平衡 +4dBs 10kΩ以上

⑧ キャンタムタイプコネクタ(XLR-3-31相当)

⑨ キャンタムタイプコネクタ(XLR-3-32相当)

のどちらから入力端子を選べます。

PS-A4002をモノラルアンプとしてご使用になる時は、CH1/MONO側に入力信号を接続してください。

CH2側へ入力しても動作しません。

⑩ ⑦の入力端子は並列接続になっていないので、他のパワーアンプとの入力並列接続端子として使用できません。(8、9バーズをお読みください。)

⑧ 「CH2-SELECT」 入力チャンネル切換スイッチ

2→1-EACH

入力をCH2とする時このスイッチを「EACH」側に

入力をCH1とする時このスイッチを「2→1」側に

切り換えてください。

⑨ 「MODE」 動作モード切換スイッチ

DUAL-MONO

PS-A4002をモノラルアンプとしてご使用になる場

合などにこのスイッチを切換えます。

CH1をモノラル動作させる場合は、「MODE」スイッチ

を「MONO」の状態にしてください。

⑩ 「SIGNAL GND」 グランド端子

この端子は、オーディオミキサー等を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありませ

ません。

⑪ 空冷ファン (PS-A7002のみ)

セット内部の温度を検出し回転します。

また、プロテクトランプ点灯中にも回転します。

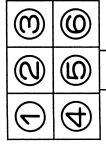
(電源ON時、プロテクトランプが点灯している時に

ファンが回転し、消灯すると止まりますが、故障では

ありません。

⑫ モニター出力端子の接続について

(1) ピンの配列と働き



⑬ 「SPEAKER」 スピーカー出力端子

名動作において、接続できるスピーカのインピーダンスは次の表のようになります。

動作モード 切換スイッチ	スピーカ端子	接続できるスピーカ のインピーダンス
MODE	"DUAL" CH1⊕と⊖ CH2⊕と⊖	4~16Ω
	"MONO" CH1⊕とCH2⊕	8~16Ω

CH1・CH2をモノラル動作させる場合は、CH1⊕端子をホット(+側)、CH2⊕端子をコールド(-側)に接続してください。

△ ご注意

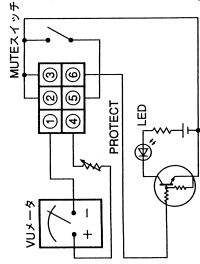
- 出力回路の並列接続はできません。
- モノラル動作のときは同一チャンネルの⊕・⊖間には、スピーカを接続しないでください。
- モノラル動作時は8Ω~16Ωのスピーカをご使用ください。
- モノラル動作時のIMPEDANCEスイッチについては9ページを参照してください。

ピン番号	名称	働き
④	HOT	定格出力時に+4dBsの信号が出力されます。 (PS-A4002: 300W = 36dBs PS-A7002: 450W = 41.8dBs 負荷8Ω)
①	COLD	
⑤	MUTE	②~④間をショートすると保護回路が動作して、出力が遮断されます。("PROTECT"が点灯します。)再び②~④間をオープンにすると、3~5秒後に出力がリターン解除されます。("PROTECT"が消灯します。)
②	GND	
⑥	PROTECT	プロテクト信号出力です。保護回路が動作して出力が遮断されている状態("PROTECT" LEDが点灯)のとき0V、正常動作時("PROTECT" LED消灯)の時+12Vです。
③	GND	

△ ご注意

- ミューティング端子(②~④)間をショートすると、両CH同時に保護回路が動作します。
- PS-A700、PS-A300、PS-A152、PS-A121、PS-A754とモニター端子の配列が異なります。

(2) 接続例



△ ご注意

- PROTECT出力の出力電流は1mA以下でお使いください。
(LED等を使用される場合は必ず駆動用の回路(トランジスタ等)を入れてください。)

- 入力信号が加わるとVUメータが振れます。
- アンプが異常発熱または故障して保護回路が動作し、出力が遮断されるとLEDが点灯し、VUメータは振れませんが、ミューティングスイッチをショートすると保護回路が動作し、出力が遮断されます。

* モニター出力端子へのコネクタについては最寄りのサービスマンにご相談ください。

⑩ 「SPEAKER IMPEDANCE」 インピーダンス

切換スイッチ 4Ω→8Ω

接続するスピーカの負荷が6~16Ωの場合「8Ω」

4Ωの場合「4Ω」に設定してください。

⑪ 「SIGNAL GND」 シグナルグランド切換スイッチ

FLOAT-FRAME

シグナルグランドをフレームグランド(筐体)に接続す

る(FRAME)か、切り離す(FLOAT)かを切換えるスイ

ッチです。通常は「FRAME」側に設定してください。

△ ご注意

- 本機を金属性ラックにマウントする場合には、ラックを経由して他の機器との間にアースループが発生し、ハムノイズなどが出る場合があります。このような場合は、シグナルグランド切換スイッチを「FLOAT」側にしてください。

⑫ 電源コード

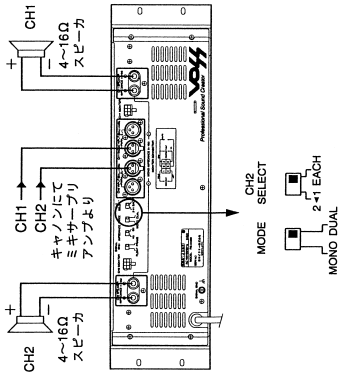
△ ご注意

- コンセントに付いている緑色の端子は安全アース端子です。正しく接地してください。

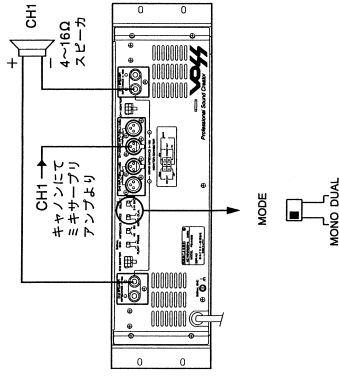
接続のしかた

(リアパネルの図は、PS-A4002です。
PS-A7002の接続及びスイッチの設定も同様に行ってください。)

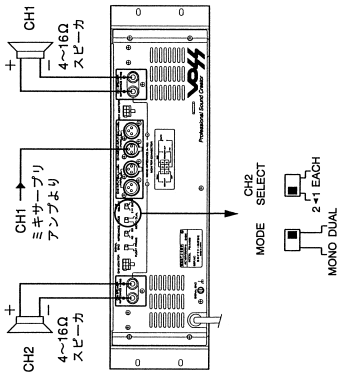
■ 2CH入力/2CH出力



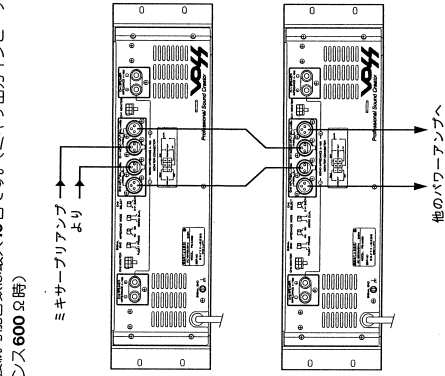
■ 1CH入力/1CH出力



■ 1CH入力/2CH出力



■ 入力の並列接続について
接続可能台数は最大10台です。(ミキサ出力インピーダンス600Ω時)



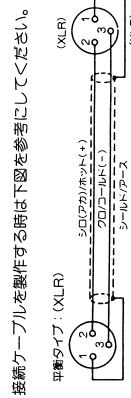
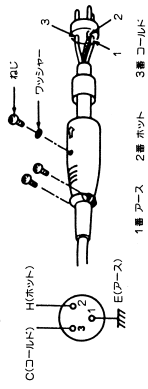
■ 接続ケーブル

入力コネクタの配線は次のようにしてください。

XLRタイプコネクタの場合

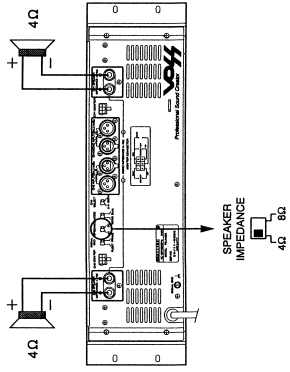
- 1番：アース
- 2番：ホット
- 3番：コールド

入力端子配線

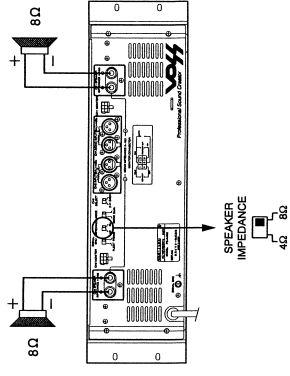


IMPEDANCE スイッチについて

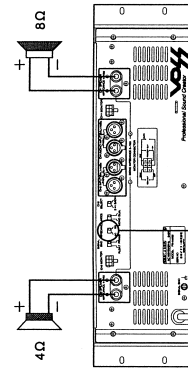
■ 2CH出力/両CH4Ωスピーカー使用



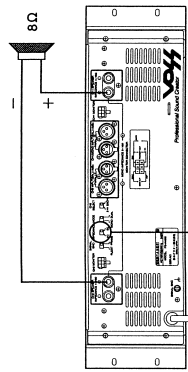
■ 2CH出力/両CH8Ωスピーカー使用



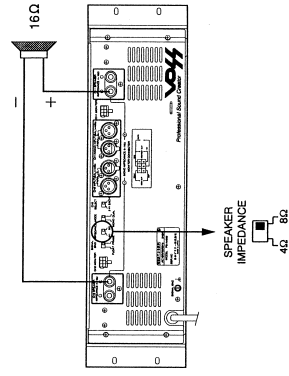
■ 2CH出力/片CH4Ω、片CH8Ωスピーカー使用



■ 1CH出力/8Ωスピーカー使用



■ 1CH出力/16Ωスピーカー使用



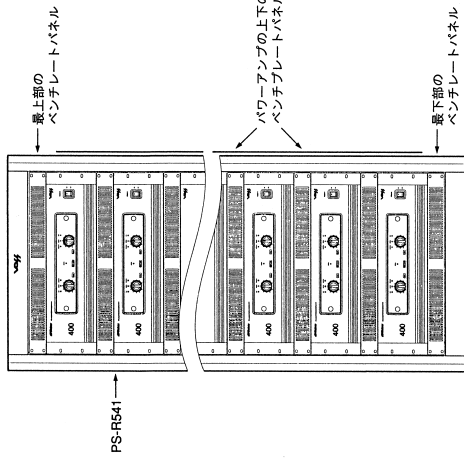
※ 6Ω負荷のスピーカーをご使用の場合IMPEDANCE SWは「8Ω」側で使用できます。

△ご注意

- 長時間PEAKランプが点灯した状態で使用しないでください。故障の原因となります。

ラックへの組み込みについて

- EIA ラック(PS-R541)などに組み込む場合は、放熱効果をよくするためにパワーアンプの上下にベンチレートパネル(パネル(PS-RU01V))を取付けてください。なおラックスベースの関係でベンチレートパネルを取り付けることができな場合にも最低本機2台に対し1Hのラックスベースを確保するようにしてください。
また、ラックの最上部と最下部にもベンチレートパネルを取付けてください。

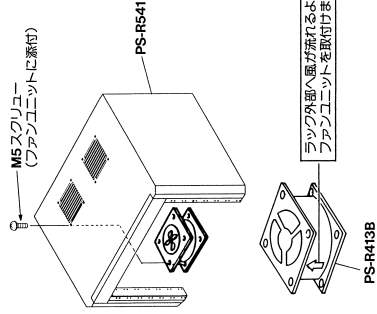


△ご注意

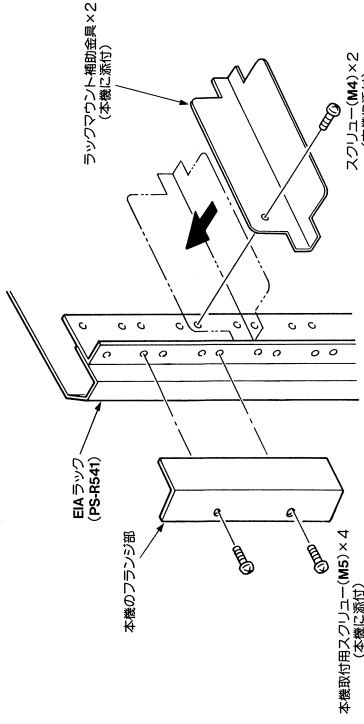
- EIA ラック(PS-R541)をご使用される場合は、十分な放熱効果を得るためにファンユニット(PS-R413B)を必ず2台、ラック上面内側に取付けてください。

取付け方法は次の手順に従ってください。

- ① ファンユニットは添付のスクリーンでラック上面内側に取付けます。
(ファンユニットの取付けはしっかりと行ってください。
ファンユニットとラック上面との間にすきまがありま
すと騒音を発する恐れがあります。)
- ② パワーコードを接続します。
(ファンユニットとパワーコードの接続は差し込み式に
なっておりますので、十分に差し込んでください。
(差し込みが不十分ですと、ファンユニットの故障や動
作不良の原因になる場合があります。)



- 本機をEIA ラック(PS-R541)に組み込む場合は、本機に添付されているラックマウント金具を添付のスクリーン(M4)で取
付けた後、組み込みます。

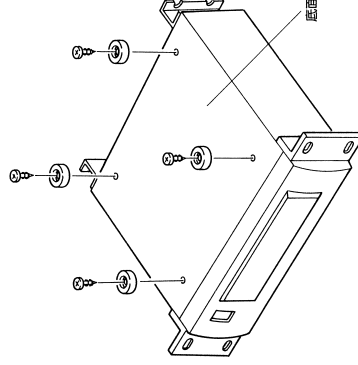


△ご注意

- システムラック(PS-R30)への組み込みについて
主電源ユニット(PS-P30-B/H)を組み込んだシステムラック(PS-R30)にパワーアンプを組み込む場合は、
各々の消費電力の合計が800Wを超えないようにしてください。
PS-A4002の組み込み可能な台数は最大1台です。PS-A7002は、組み込めません。

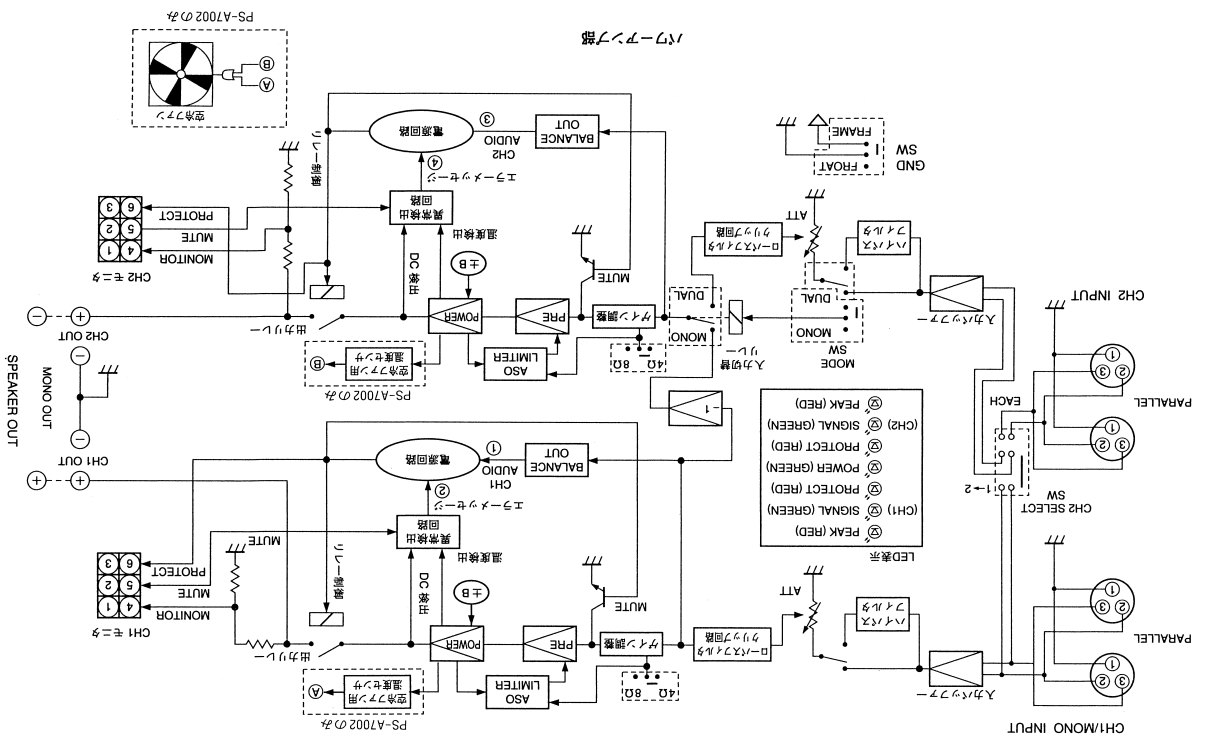
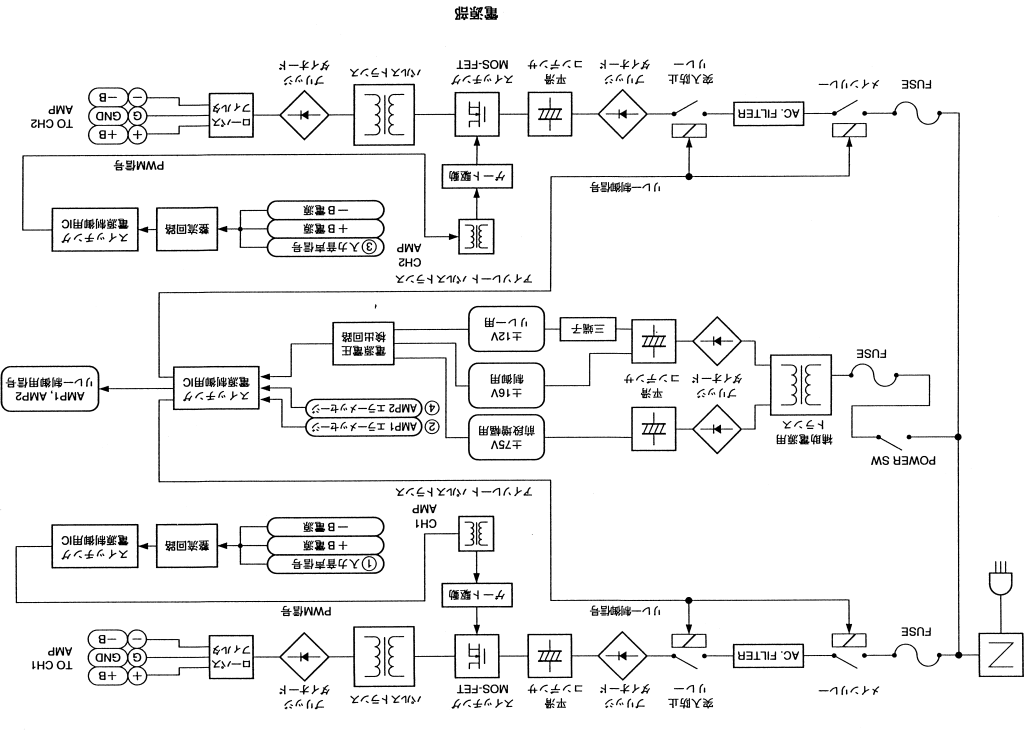
● フットを取付けについて

パワーアンプを直接カウンターや棚に置いて使用するとき、底面に添付のフットを取付けてください。フットは添付のフット取付スクリーンで取付けます。



△ご注意

- フットを取り付けて御使用になる場合、
本機上面には絶対にもを乗せないでく
ださい。
- 本機内に熱がこもり、誤動作・故障・火
災の原因になる恐れがあります。

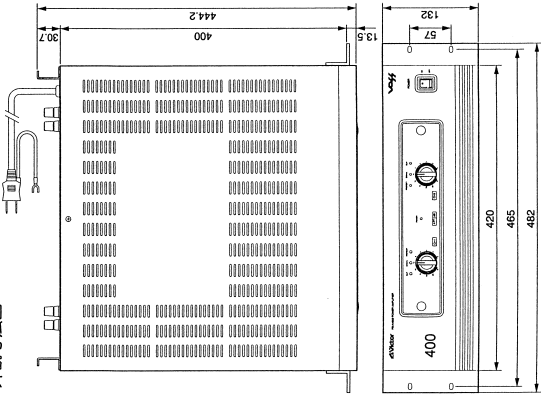


仕様

- PS-A4002 パワーランスタスタビコンアブリメンタリ
アッシュユアル
定 格 出 力 2チャンネル
450W×2 (20Hz~20kHz、0.1%、8Ω、EIAJ)
400W×2 (1kHz、0.1%、4Ω、EIAJ)
モノラル
800W×1 (1kHz、0.1%、8Ω、EIAJ)
全高調歪率 0.1%以下(1kHz、4Ω、400W×2)
0.1%以下(20Hz~20kHz、8Ω、300W×2)
- 周波数特性 20Hz~20kHz±0.5dB
クロストーク -75dB以下(20kHz)
- S N 比 100dB以上(HF-A入力短絡)
- 入 力 感 度 +4dBs(0dBs=0.775 Vrms)
- 電圧増幅度 30.3dB(4Ω)、32.0dB(8Ω)
- 入力インピーダンス 10kΩ以上(電子平衡)
- 電 源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力 545W(電気用品取締法)950W(8Ω定格出力)
- 外形寸法 482(幅)×132(高さ)×442(奥行き)mm
- 質量 13kg
- 仕 上 げ フロント/パネル：黒色ABS樹脂
：黒色半艶塗装
その他

- 付属品(PS-A4002・PS-A7002共通).....4
- ラックマウント用スクリュー(M5).....4
- ラックマウント補助金具.....2
- 補助金具取付け用スクリュー(M4).....2
- フット.....4
- フット取付け用スクリュー(M3).....4

外観寸法図



本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、
記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

—保証期間—
お買い上げの日から**1年間**

補修用性能部品の最低保有期間

パワーアンプの補修用性能部品の最低保有期間は、製造
打ち切り後8年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために
必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービスマニュアル」をご覧のうえ最寄りのサービス窓
口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異音のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービスマニュアルに修理を
ご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

出張修理

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様の要望により修
理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	2チャンネルパワーアンプ
品 番	PS-A4002・PS-A7002
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に できるだけ目印等も併せてお知らせください
ご住所	お名前
お名前	電話番号
電話番号	訪問ご希望日
訪問ご希望日	便利メモ
便利メモ	お買い上げ店名 () -

修理料金の仕組み

故障した製品を正常に修復するための料金です。技
術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費。一
般管理費等が含まれています。

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯す
る部材等を含む場合もあります。

製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。
長時間御使用にならない場合は省エネルギーのため電源スイッチを切ってください。